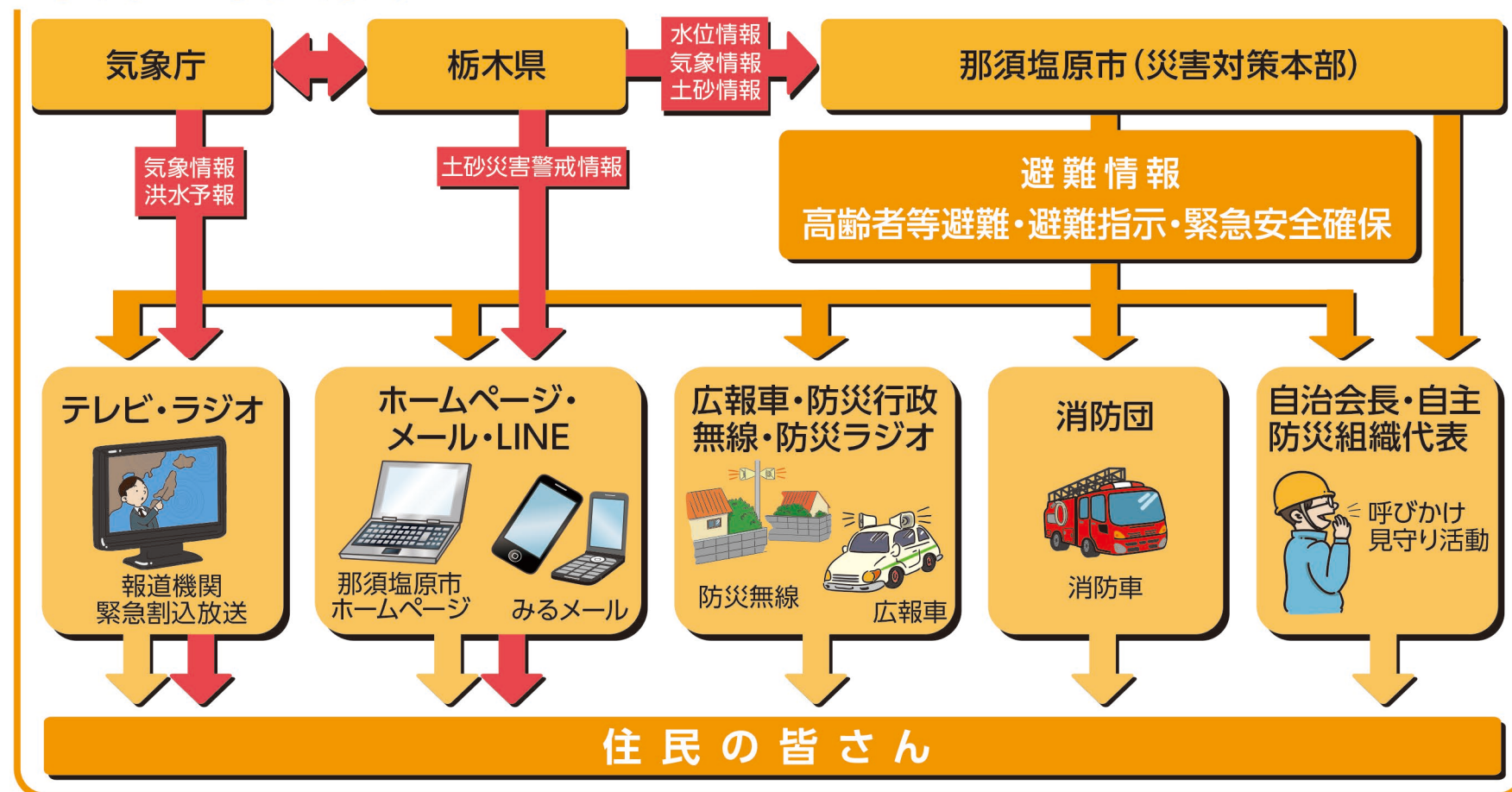


災害時の情報伝達

▼住民への伝達方法



▼全国瞬時警報システム(J-ALERT)について

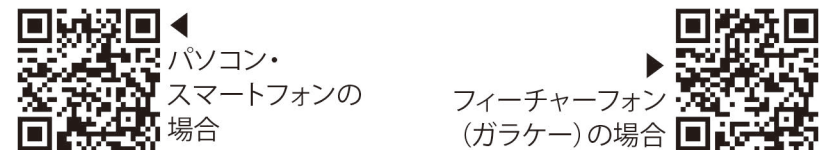
噴火警報や緊急地震速報、弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に国が人工衛星を用いて情報を発信し、みるメールや防災ラジオ等で直接住民に伝達するシステムです。

▼みるメールによる配信

防災情報や生活に関する情報などの地域情報を携帯電話やパソコンにメールで自動的に配信するサービスです。災害時の情報を入手する方法として登録をお願いします。

登録方法

「t-nasushiobara@sg-p.jp」あてに空メールを送信するか、二次元コードを読み取る。登録ページにアクセスし、利用規約を読み、同意の上、登録してください。



▼市LINE公式アカウントによる配信

市のイベントや市政情報を定期的に配信しています。また、災害発生時の避難や被害に関する情報も配信していますので、市LINE公式アカウントの登録(友だち登録)をお願いします。

登録方法

二次元コードを読み取り、「那須塩原市役所」を友だち追加する。



◆情報を集めましょう◆

▼テレビ

- ①リモコンのdボタンを押す
- ②「防災・生活情報」を選択する



▼栃木県

リアルタイム雨量 河川水位観測情報

栃木県内の雨量・水位・ダム情報など



▼気象庁

防災情報、天気、キキクル(危険度分布)、大雨・大雪、地震・火山情報など



▼川の防災情報

カメラ画像、河川の観測水位、水位予測など



▼Yahoo!防災速報

雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知でお知らせします



App Store

Google Play



避難の方法

避難は公民館や学校といった指定避難所への移動ではありません。住んでいる地域やそのときの状況、人によって方法は異なります。普段からどう行動するか決めておきましょう。

■立退き避難(自宅以外の場所への避難)

- ・市が開設した避難所
- ・安全な親戚・知人宅
- ・安全なホテル・旅館への宿泊(通常の宿泊料が必要です。この防災ハザードマップで安全かどうか確認し、予約しましょう)



■緊急安全確保

「立退き避難」を行う必要がある居住者等が、適切なタイミングで避難をしなかった等により避難が遅れたために、災害が発生・切迫し、立退き避難を安全にできない状況に至ってしまった場合に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点でいる場所よりも安全である場所へ直ちに移動等することが「緊急安全確保」です。



- ① 自宅への浸水が始まっている場合、自宅の少しでも高い場所へ移動
- ② がけから近い建物の場合、がけから離れた部屋へ移動
- ③ ①、②の行動でも危険を感じた場合は近隣のより高く頑丈な建物へ移動

避難所について

避難所開設情報を確認しましょう

災害時は、すべての避難所が開設されるわけではありません。台風などの接近に備え、避難指示などを発令する前から自主的に避難する人のために開設する「自主避難所」や、発令後に対象地域の避難先として開設する「指定避難所」の開設情報を市のホームページやみるメールでお知らせします。※避難する場合は、どこの避難所が開設されているか確認しましょう。

避難所では生活ルールを守りましょう

避難所では限られた空間の中でたくさんの人が生活しますので、協力して良好な環境を保ちましょう。起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声で話したりするのはマナー違反です。限られたスペースをゆずりあって使いましょう。配慮が必要な方のために、場所の移動をお願いすることもあります。

役割分担して運営に参加しましょう

避難者もできる範囲で、受付や清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担しましょう。皆さんで助け合いながら避難所運営に参加しましょう。



～飼い主が備えておくべきこと～

ペットの同行避難は各避難所に定められたルールに従いましょう。避難者がいるスペースから離れ、決められた場所につないだり、持参したケージ(おり)等に入れたりするなど、飼い主が責任を持って世話しましょう。

ウイルス等の感染症が収束しない中でも、災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な行動をとりましょう。

避難先では感染症予防に努めましょう



・避難所に入る前に

感染の拡大を未然に防ぐことが非常に重要です。避難所に入る前に、発熱の有無など体調チェックを行いましょう。

・手洗い、うがいをこまめに

食事前や、トイレなど共有部分に触れた後は、石けんと水で手洗いしましょう。水を十分に確保できない場合は、アルコール消毒液などで代用しましょう。

・咳エチケットの徹底

飛沫感染の予防のため、咳などが出ていなくてもマスクを着用しましょう。

※感染症予防に限らず健康上の不安があったら避難所にいる保健師に相談してください。

・換気の実施

可能な限り、定期的に換気を行いましょう。換気は季節を問わないので、寒暖差への防寒対策も必要です。

・「3密」(密閉・密集・密接)の回避

避難者同士2m程度の距離を保ちましょう。向かい合わせではなく背中合わせに座ったり、段ボールなどの間仕切りを利用すると、飛沫感染の予防になります。また食事時間をずらすなどして、密集・密接を避けましょう。

・日々の健康状態をチェック

定期的に体温を測定し、体調の変化を感じた場合にはすぐに避難所のスタッフに相談しましょう。